

臨床データ利用についてのお願い

当院では下記の研究を行っております。

課題名：非閉塞性腸管虚血における腸管追加切除の予測因子に関する検討

<目的及び概要>

非閉塞性腸管虚血(NOMI)という病気は経時的に腸管の壊死が進行する重篤な疾患です。一回の手術では壊死範囲が定まらないことが多いため、二回目、三回目の手術を要することも多いのですが、一回目以降、腸管の壊死が進行しない方もおられます。本研究により、一回目の手術時に腸管壊死の進行を予見することが出来れば、二度目、三度目の手術を回避し、過不足のない治療を提供することが可能となる事が期待されます。

<研究方法>

年齢や性別、併存疾患等のデータをカルテから収集し、それを二回目の手術時に腸管の壊死があり追加切除を行った否かで分類します。この二群間で周術期のデータに関して比較検討を行います。2013年5月から2021年9月までの間に当院で手術を受けた方を対象とします。

<研究成果発表>

学会や誌上等での報告を行います。個人名や個人情報公表されることはありません。

<研究者>

外科：服部 賢司 他

<問い合わせ先>

本研究に関するお問い合わせや診療情報の利用を望まれない方は、下記までご連絡ください。

兵庫県立淡路医療センター 外科 服部 賢司

電話：0799-22-1200（代表）